



# 石井町内会では、令和7年度に「地区防災計画」を策定しました!

## 地区防災計画とは

地区防災計画は、地域住民による自発的な防災活動であり、東日本大震災を契機に平成25年に創設されました。

過去の災害において避難や救命救助などに大きな役割を果たしてきた地域での助け合い、支え合いの「共助の力」を育む取り組みです。

## 計画策定までの流れ

町内会役員、組長、各種団体などが地域の代表として集まり、過去の被災地支援の実績がある認定NPO法人愛知ネットの協力を得て、ワークショップ(話し合い)を行いました。

参加者で意見交換を行い、令和8年度以降に防災活動の内容を作成しました。

## 実施内容(ワークショップ3回)

### ワークショップ①

## 地区防災の理想と課題を整理

地域の特徴から地域防災を考えるワークショップ(話し合い)を行い、地域防災の理想(あるべき姿)を考え、「**小さい町の良さをいかした全員参加のまちづくり**」をみんなのテーマとしました。



### ワークショップ②

## 災害時の課題に対するアプローチ方法

安否確認、防災訓練、備蓄食料などの災害時の課題から1つを選択して、課題解決に向けた話し合いがなされました。



### ワークショップ③

## 防災活動メニュー企画書の作成

課題解決に向けての具体的なアイデア出しを行いました。

企画書の内容は裏面をご覧ください



# 石井町内会でこれから取り組む「地区防災計画」

グループ  
A

## 子ども防災チームによる防災活動仕組みづくり



令和8年度に  
実施予定!

**目的** 全員参加の町づくりを目指して、子ども発信で若い世代も参加できる  
防災意識の向上を目指す防災企画を実施する

**内容**

**いつ?** ふれあい祭り(9月末) **誰が?** 子ども防災チーム、町内会役員、子供会役員、消防団

**何を?** 防災の情報発信、防災用品の展示、防災クイズ

**どのように?** 子ども防災チームによるステージの上で発表、消防団のブースで警発

協力者・役割 石井町民 全員

グループ  
B

## より実態に合わせた防災訓練を実施



令和8年度に  
実施予定!

**目的** 町内住民の防災意識を高める→まず参加してもらう 動機づけ

**内容**

**町内会役員**  
(組長・評議員)

- 防災訓練での役割を決める、班長の報告をまとめる
- 防災倉庫内の備品の確認と展示、町内マップ(確認できる図面用意)

**子供会**

- 子どもも参加すると親も参加する(子どもから親へ発信する)
- 防災クイズ作成実施事前の情報収集

**消防団**

- 町内全域の確認をしてもらう(普段から危険箇所、見守り者を共有)

**班長**

- 安否確認 黄タオル 危険箇所の確認 状況確認(建物、道水路)
- 当日チェック表、大きな範囲ではなく班内のもの

協力者・役割 町民

グループ  
C

## 石井町防災フェスティバル (訓練と言っているとハードルが上がるので)

**目的** 石井町民全員参加による防災意識の向上、技能習得はもちろんのこと、その根幹である  
横のつながりの形成(自助・共助・公助の土台づくり)

**内容** 収穫祭に防災訓練の内容を加える

新しい世帯にも参加してほしいので。訓練という雰囲気なるべく減らし、ニュースポーツやEスポーツ、  
ゴミ拾いなどを織り交ぜて親子や組などで競い、楽しく知識・技能を身につけられるイベントにする。

協力者・役割 石井町民(町内会費を払ってなくても関係なく、払ってなくても町内で助けるように市から指示があるので気兼ねなく)

グループ  
D

## OB連携・連絡会

**目的** 過去の町内会や町内に詳しい人で防災訓練をして、縦と横のつながりを強くするため

**内容**

- 年間行事の時に、現役の役員とOBの役員で連携できるように訓練する
- 専用の連絡網を作る
- 顔を合わせて話し合いを行い、年1回は会合を行う
- 子ども会の行事の活用
- 会ごとの連絡網を作る

協力者・役割 現役の役員とOB役員